

2023年 年頭のごあいさつ



保健事業部長
福田 崇典

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては穏やかな新年をお迎えのことと存じます。

平素より、保健事業部の健康診断・がん検診・人間ドックをご利用いただきまして心より御礼申し上げます。

2022年は、4月の新健診システム導入に伴い、利用者様にはご不便、ご迷惑をおかけいたしましたこと、改めて深くお詫び申し上げます。

新型コロナウイルス感染症については、引き続き、留意が必要です。最近では、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行（パンデミック）により、世界の情報伝達力は、大幅に拡大し、「インフォデミック」という現象が問題になりました。インフォデミック（infodemic）とは、世界保健機構（WHO）が“information（情報）”と“epidemic（伝染病）”を

組み合わせでつくった造語です。ネットなどで噂やデマも含めて大量の情報が拡散し、現実社会に影響を及ぼす現象を指します。このような時代こそ、健康に関する多くの情報の中から自分に合った適切なものを探し、理解して活用する能力「ヘルスリテラシー」が、誰にも求められる能力となるのではないのでしょうか。

2023年、保健事業部は、事業部の財産である健康診断の情報・データ（検査結果・問診）と正しい情報を基に、より具体的なアドバイスで皆さまお一人おひとりの「ヘルスリテラシーの強化・向上」のお手伝いに取り組みたいと考えます。

本年もたゆまぬ努力と研鑽を続けて参ります。これまで同様のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



聖隷健康診断センター
所長 武藤 繁貴

明けましておめでとうございます。

昨年は、新システムの導入遅延等により、皆様には大変ご迷惑をおかけしました。現在は不具合も解消し、安定したサービスが提供できるようになっております。IT活用は、保健指導分野では遠隔支援がかなり進んでいますが、今後は予約、問診、結果表示などについても進めなければなりません。サービス向上に向け、さらなるIT活用に取り組んでまいります。

さて、現在、第4期特定健診・特定保健指導の見直しが行われており、厚生労働省の検討会、ワーキンググループ、標準的プログラム改訂作業班に私も含め当事業部スタッフが参加しております。皆様にも適宜情報提供してまいります。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



聖隷予防検診センター
所長 森 厚嘉

明けましておめでとうございます。

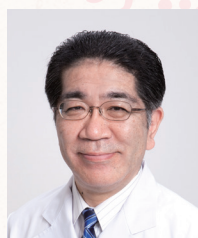
2022年は4月に新しい健診システムを導入し、センターの運用にも大きな変化が生じた年でした。皆様には多大なご迷惑をおかけいたしましたこと、改めてお詫び申し上げます。一方で、昨年も幾度か新型コロナ感染症の流行がみられました。その波は今後も発生することが懸念されており、健診事業においても徹底した感染対策が不可欠だと思われます。健診システムを安定稼働させることで利用者の皆様には今まで以上に正確でスムーズに、そしてこのコロナ禍においても安心して受診いただけるサービスをご提供できるよう、本年も職員一丸となって取り組む所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。



聖隷健康サポートセンター
Shizuoka
所長 鈴木 美香

謹んで新年のご挨拶申し上げます。2022年も多くの皆様に聖隷サポートセンター Shizuoka・聖隷静岡健診クリニック・巡回健診をご利用いただき、心より感謝申し上げます。また4月の新システム導入にあたっては、大変ご不便・ご迷惑をおかけいたしましたことを心よりお詫び申し上げます。

昨年は新たな取り組みとして、「若い世代の方に自分のカラダとココロについて正しく理解し、より健康的な生活習慣を身につけていただくこと」を目的として「プレコンセプションケア健診」を開始しました。また、積極的な予防医療として、子宮頸がんや帯状疱疹などの予防ワクチン接種にも取り組んでまいりました。2023年も、幅広い年代の皆様に安心して受診いただける施設として、地域の皆様のご期待やご要望により一層お応えできるよう、施設をあげて励んでまいりたいと存じます。本年もご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



地域・企業健診センター
所長 鳥羽山 滋生

明けましておめでとうございます。2020年から続く新型コロナ感染も、2022年には一時より落ち着き、まだ波があり影響はありますが、健康診断の受診控えも改善が見られてきました。その間、保健事業部の精度管理センターの立ち上げにより、当センターも健診精度の向上を計ることができました。これにより単に健康診断を行うだけでなく、更に充実した内容での健康診断を行えるようになりました。また、結果送付の遅延など契約者の皆様にはご迷惑をおかけいたしました。昨年春には、健診システムの刷新を行うことができました。

今年も利用者様に高い満足度が得られる精度の高い巡回健診を進め、各市町村の健康維持や各事業所の健康経営に寄与できるよう、心掛けていきます。よろしくお願い申し上げます。

保健事業部 グループ通信

【冬メニューを一新】

さらに美味しく健康的に！

浜松ウェルネスアワード2022市民健幸部門大賞受賞の「栄養はなまる弁当」第8弾“冬の陣”発売中

事業管理部 保健看護管理室 健康支援課 池谷 佳世

保健事業部管理栄養士が監修する、フレイル※1予防に役立つ「栄養はなまる弁当」（保健事業部×浜松パワーフード学会（製造：竹泉）×遠鉄ストア）がシリーズ累計8万食記念、新メニューを完成させました。

徳川家康公を支えた浜松・浜名湖地域産の旬食材「浜松パワーフード※2」13品目をふんだんに使ったお弁当です。フレイル予防に役立つ1日に必要な10食品群の食材すべてを摂取できます。

お弁当全体の塩分使用料は過去最少の2.3g。味付けは、食材の旨味を生かし、香辛料、酸味を使用し、塩分控えめでも美味しく召し上がれます。

1食678円（税込）。遠鉄ストア全33店舗で絶賛販売中です。

※1：フレイルとは
フレイルとは加齢により心身の活力（筋力・認知機能、社会とのつながりなど）が低下した状態をいいます。フレイル状態にならないために、必要な栄養素をまんべんなく摂ることが大切であり、多様な食品や料理を食べることが重要です。

※2：浜松パワーフードの詳細はこちら
<https://hamamatsu-pf-frailyobo.studio.site>

※3：スマートミールとは
健康づくりに役立つ栄養バランスの取れた食事で、一食の中で、主食・主菜・副菜が揃い、野菜がたっぷり・食塩のとり過ぎにも配慮した食事のこと。スマートミールの基準に「ちゃんと」、「しっかり」があります。栄養はなまる弁当は「ちゃんと」の基準を満たしています。
ちゃんと：450～650kcal未満 主食（ご飯の場合）：150～180g（目安）
主菜：60～120g（目安） 副菜：140g以上 食塩相当量：3.0g未満
詳しくはこちら
<https://smartmeal.jp>
「健康な食事・食環境」認証制度



スマートミール※3
認証！

お品書き

- 浜松産米 鮭ご飯と浜名湖海苔卵ご飯
- 浜松産野菜と美味鳥の南蛮漬け 浜松産レモン添え
- 浜松産野菜としめじのバター炒め
- 浜松産ふろふき大根と里芋 ゆず味噌あんかけ
- 浜松産スナッPEndウ ● 浜松産芽キャベツのグリル
- 切昆布の煮物 ● 浜松産ミニトマト ● うなぎ芋の大学芋

フレイル予防で1日に必要な10食品群が全て含まれています
肉・魚介類・卵・乳製品・大豆製品・緑黄色野菜・海藻類・果物・芋・油脂



浜松パワーフード学会 秋元 健一 会長
生産者が、このお弁当のために思いを込めて作った一番おいしいと思える食材を提供してくれており、野菜も魚も鶏肉も第1弾の頃よりぐんと美味しいものになっています。

有限会社 竹泉 木俣 昭彦 社長

ご飯を飽きずに楽しんで食べてもらえるよう、2種類のご飯を用意しました。1匹の鮭を丁寧にほぐしています。

